

16・工場防火チェックリスト

工場防火対策では予防の大切なことはいうまでもありません。そのために防火区画の設定や火災感知設備・消火設備による防火システムの充実を図ることが大切であり、避難経路の確保も常に心がけておかななくてはなりません。こうしたことを基本に、工場における防火のチェック体制を確立しておく必要があります。

工場防火体制のチェックを効率よく行うには「チェックリスト表」をつくり、担当者を決めて日常のチェック体制を確立されることをお奨めします。各工場独自のチェック項目があると思いますが、ここでは環境および消火設備に関する平均的な項目を並べてみました。これを参考に綿密な防火チェックリストを作成してください。

●工場環境など

	チェック項目	評価	問題点・対策
工場機械設備周辺	・近くに可燃物や危険物（特に揮発性物質や油、またホコリなど）はないか		
	・油溜まりはないか		
	・ウエスや手袋、また不必要なものは放置されていないか		
	・部材などは決められたところに置かれているか		
	・床や柱は燃えにくい構造になっているか		
	・工作機器に異常（亀裂、破損、腐食、設置状況、可動状態など）はないか		
	・工作機器は定期点検されているか		
	・火花が可燃物に飛散していないか		
	・異常な火花の飛散はないか		
	・飛散防止策がなされているか		
	・集塵装置に問題はないか		
	・切削油の管理はなされているか		
	・高圧ポンベの管理は適正か		
	・ガスバーナー等からのガス漏れの危険はないか		
	・換気装置は正常に作動しているか		
電気・静電気関係	・素材や端材は決められたところに保管されているか		
	・電気配線の被覆に損傷や乱れはないか		
	・電気配線が物の下敷きになったり物と接触していないか		
	・コンセントや接点に異常はないか		
	・みだりに仮配線はされてないか		
	・不要な電気機器が持ち込まれていないか		
	・断線や端子のゆるみはないか		
	・タコ足配線になっていないか		
従業員周辺	・漏電ブレーカーやヒューズの容量は適切か、取付場所に問題はないか		
	・静電気の発生しやすいところに可燃物（特に揮発性物質や油）はないか		
	・静電気防止のアースは確実になされているか		
従業員周辺	・「火気厳禁」は徹底されているか		
	・タバコは決められた場所で吸い、吸い殻は完全に消されているか		
	・暖房器具の近くに可燃物はないか		
	・人のいないときは暖房器具を消しているか		
	・暖房器具の給油時は確実に消火しているか		

●消火設備・器具

	チェック項目	評価	問題点・対策
消火器	・それぞれの設置場所を認識しているか		
	・すぐ使える状態になっているか		
	・設置場所の近くに取り出しの妨げになるものを置いていないか		
	・適切な場所に必要な本数の消火器が設置されているか		
	・消火器の種類や薬剤量は適切なものか		
	・消火器の使用法を全員が知っているか		
	・消火器や消火薬剤は耐用年数を過ぎていないか		
	・失効対象（上抜き式安全栓以外）の消火器はないか		
	・車載式（大型）消火器の車輪はスムーズに回転するか		
	・6ヵ月・1年の定期点検はされているか		
消火設備・装置	・設置してある場所を認識しているか		
	・消火対象を認識しているか		
	・配管や配線に異常はないか		
	・使用方法を知っているか		
	・消火剤放出口に妨げになるものはないか		
火災報知器	・6ヵ月・1年の定期点検はされているか		
	・設置場所を認識しているか		
	・スイッチが「ON」になっているか		
	・いつでも機能が発揮できる状態にあるか		
防火用水	・6ヵ月・1年の定期点検はされているか		
	・設置場所を認識しているか		
	・防火用水の大きさは適切か		
	・いつでも使える量の水量はあるか		
消防車	・防火用水を使うための機器や用具は管理されているか		
	・進入路の幅が3m以上確保されているか		
	・進入路の高さは4m以上確保されているか		
	・進入路に通行の妨げになるものを置いていないか		
消防車	・進入路がすぐにわかるか		
	・消防車は常に整備されているか		